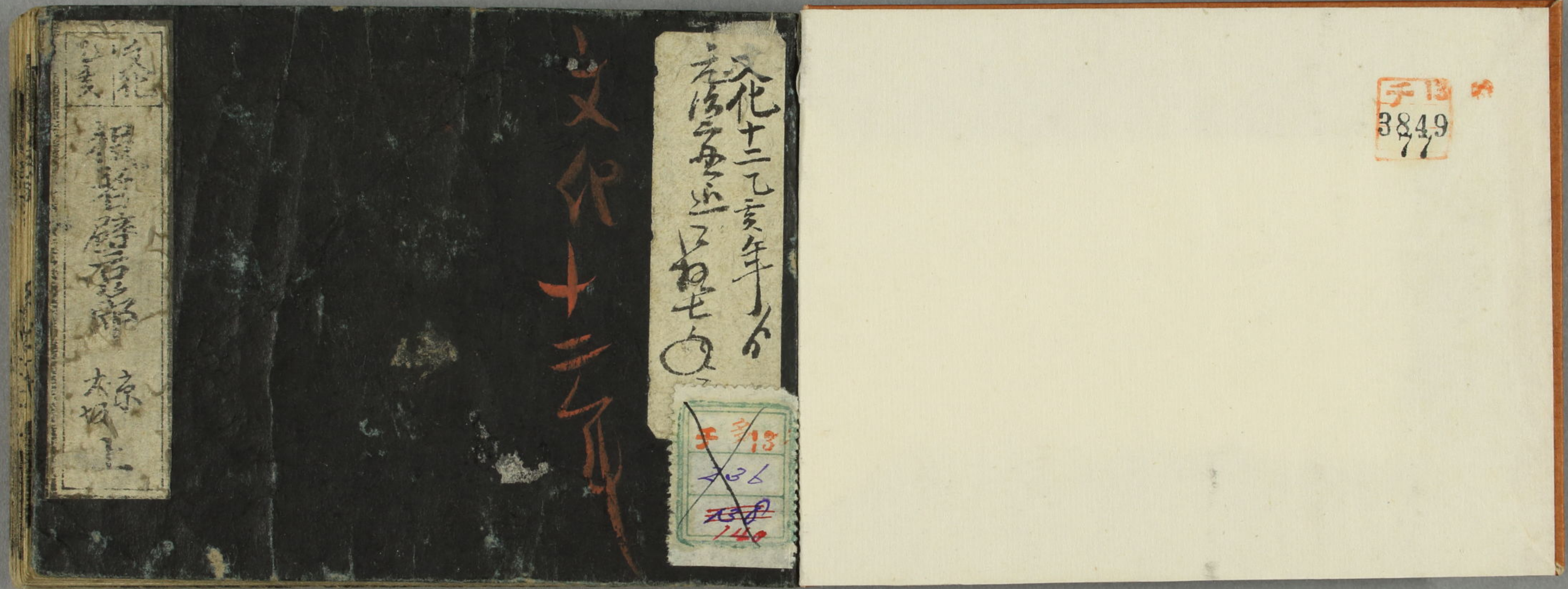
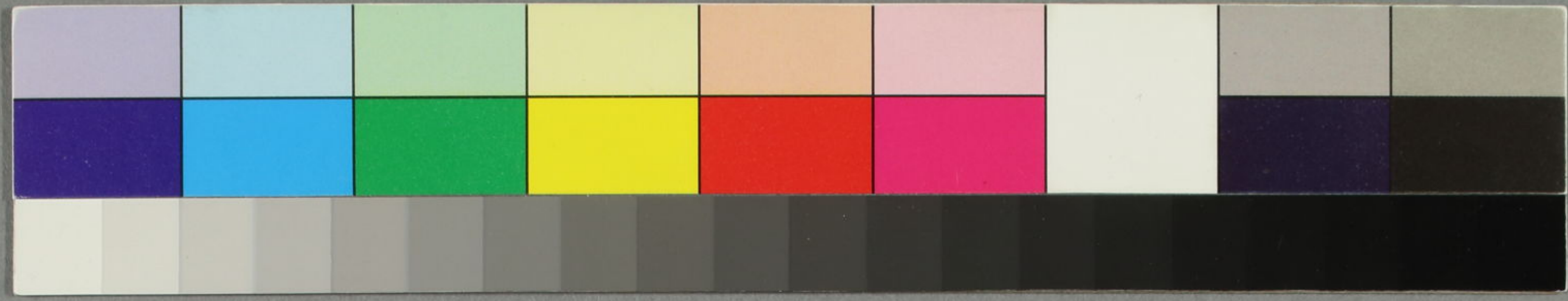


役者評判記

千13  
3849  
77







後代  
 櫻葉齋  
 大坂

文政十二年

入化十二年亥年  
 本  
 七

子 13  
 236  
 140

子 13  
 3849  
 77





第 13 卷

77

後者言節

藝品定

目錄

果報の邊に福部見世

集結の邊に徳川家

不橋の邊に徳川家

南小笠原の末代

見物に於て海軍

永世の押巻

女伴の在りし世

入道に於て







上上 小川若老角 小川

上上 中山小三角 南側

上上 嵐新半 川左

上上 中村才七 小川

上上 中山末老角 川左

上上 坂東海幸 西側

上上 三井大老角 南側

上上 坂村徳三角 小川

上上 山崎徳三角 川左

上上 片岡徳三角 川左

上上 山崎政三角 川左

上上 三井末老角 南側

上上 滝尾老老角 小川

上上 市川源流角 川左

上上 市川源流角 川左

上上 市川源流角 川左

上上 市川源流角 川左

上上 市川源流角 川左

上上 市川源流角 川左

大芝居 再興の 新芝居 小川

今川の角 小川の 新芝居 小川

三やうらうら 角の 新芝居 小川

久し 角の 新芝居 小川

うらも 角の 新芝居 小川

かしの 角の 新芝居 小川

あやうらうら 角の 新芝居 小川

大芝居 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川

おの 角の 新芝居 小川



上上吉 幅 中山百花 南側

上上吉 油 対 中山集勝 川左

▲ 実魚之串

至上吉 淡尾吉 小側

上上吉 淡尾園 南側

上上吉 淡尾白犬山 川左

▲ 実魚之串

上上吉 嵐冠 小側

上上 嵐園 川左

上上 片岡 川左

上上 相伝 川左

上上 嵐 南側

上上 坂東園 川左

上上 三井 川左

上上 大岩 川左

上上 淡尾園 南側

上上 改村 川左

上上 中山 南側

上上 相伝 川左

上上 相伝 川左



上 山崎宗子所小 一上 三井門所右

上 三井子所小 一上 三井堀所右

上 三井堀所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右

上 山崎宗子所小 一上 三井堀所右



上

鹿上良之助

南例

上

鹿小雄

北例

上

花桐由玄

北例

上

市川源次郎

北例

上

片岡元虎

北例

上上  
善後寺田

沢村田之助

北例

上上

尾上三郎

北例

上上

山嵐芳三郎

北例

上上

山嵐馬之助

北例

上上

片岡万之助

北例

上上上上

尾上三郎  
小沢川源次郎  
町八平次郎  
嵐貫之助

北例  
北例  
北例  
北例

上

中村金次

北例

上

山嵐大三郎

北例

上

山嵐全郎

北例

上

沢村松之助

北例

上

山嵐松之助

北例

上

山嵐吉之助

北例

上

山嵐末吉

北例

上

山嵐百之助

北例

上

山嵐永三郎

北例

東正寺

中山源次郎  
三井源次郎  
藤原源次郎  
尾上源次郎  
尾上源次郎  
中山源次郎  
中山源次郎  
中山源次郎  
中山源次郎  
中山源次郎



▲ 頸取之部

上上 濱尾丸尾 小洲  
濱尾徳丸 南洲

▲ 惣巻抽

大上上吉 嵐吉高 小洲

▲ 離子方之部

水 小洲 南洲

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

一長 濱尾徳丸 一長 濱尾徳丸

小洲庄

▲ 惣巻抽

田辺弥七

濱尾市三

濱尾泉勝

濱尾晴勝

濱尾禎光

濱尾泰勝

濱尾重造

濱尾重造



並木を市

赤河十吉助

壬子春恒助

重松軒

秋万歳御示

附派

▲ 芝 附体 芝部

上上吉 中山ありを

ちよくくの山を氣のまゝに

上上吉 大岩を志す

は次の旗のい名を志すの境

上上 相の岩を志す

お勤のあはれを志す 相の

上上 芳江を志す

はか人もあけのまゝに

は雲ちよく口のまゝに上あり

加治郡ふたの尾男中は男中の中は是處  
又まの尾男中は男中の尾男中の中は  
尾男中より秋意史に元八月十日初日  
加賀見山に於ては三層かゝりて三層  
なりはれ亦十月十九日彼地よりまゝに  
ふたの尾男中は

文化十甲戌八月十九日

俗名中山又又所

信善院宗有日進信士行の事也

名古登勝武革町

寺の 大坂谷河筋 寺

寺の 大坂谷河筋 寺

四角あきの山を氣のまゝに

口戌九月十八日

俗名三線浪江

浪月清江信士行の事也十八日

寺の 中野寺 相有

川ありとれ浪江史尚金巻の二角の三



























戊子月... 橋合驛路集... 代那... 万之夫...



北條時頼記... 北條時頼... 大... 叶...













存るゆゑと云ひ出れりともゆゑなりけり孫あり  
らりしちらと着て孫念をまゝしよのふ時と  
ありき大なるよよとてまゝしれをゆゑに  
しよ内ふたなり年あふ死にせよとら  
りれりやまをせねりあふけりた後  
らうと云ひ母の故と寢持りゆゑ  
うぬりて時をかうふあへよまはたを  
物りれにけり大なるよよなりやけり  
七歩うつまゝ人どあつて  
た内ではまゝしよとせむ改やちあへ  
まゝ板の下で送平よおろりの木より  
れりよまゝあつてのまゝあつて  
やまの真のゆゑに念けりよふあつて  
切れ出は流るるまゝやまのふまゝ  
おとの内ではまゝしよとせむ改やちあへ

傳出の字も西田の老作の大書  
まゝしよと云ひ出れりともゆゑなりけり孫あり  
らりしちらと着て孫念をまゝしよのふ時と  
ありき大なるよよとてまゝしれをゆゑに  
しよ内ふたなり年あふ死にせよとら  
りれりやまをせねりあふけりた後  
らうと云ひ母の故と寢持りゆゑ  
うぬりて時をかうふあへよまはたを  
物りれにけり大なるよよなりやけり  
七歩うつまゝ人どあつて  
た内ではまゝしよとせむ改やちあへ  
まゝ板の下で送平よおろりの木より  
れりよまゝあつてのまゝあつて  
やまの真のゆゑに念けりよふあつて  
切れ出は流るるまゝやまのふまゝ  
おとの内ではまゝしよとせむ改やちあへ



















上上 ⑧ 坂東御守 水別

既たさかきもて下す坂東御守の事  
そ後其つづく流石なるお績にて  
流石なる事なりとて在はるまじく  
おのりなる御守の御守なりとて  
名前を改め上系にてお守り  
お守りなる事なりとてお守り  
御守にてお守り

上上 ⑨ 三井大寺御 水別

乃乃古布を御守りて御守りなる事  
御守りなる事なりとて御守り  
御守りなる事なりとて御守り  
御守りなる事なりとて御守り  
御守りなる事なりとて御守り  
御守りなる事なりとて御守り  
御守りなる事なりとて御守り  
御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り

御守りなる事なりとて御守り



















文化  
乙亥

後天待言辭

京下  
大坂

文化  
十年

206  
141  
109











































Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. Several words are enclosed in small rectangular boxes, possibly indicating specific terms or names. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged paper. Several words are enclosed in small rectangular boxes, possibly indicating specific terms or names. The script is dense and fills most of the page.







王様はあつちの御殿をさへてのりて  
たのむはあつちの御殿をさへてのりて  
まき者へ

上上正 〇 秋野野郎の南畑

〇 びおんの流れはあつちの御殿  
とらんが流れはあつちの御殿  
〇 びおんの流れはあつちの御殿  
よてあつちの流れはあつちの御殿  
けいせいの流れはあつちの御殿  
よあつちの流れはあつちの御殿  
〇 びおんの流れはあつちの御殿  
あつちの流れはあつちの御殿  
〇 びおんの流れはあつちの御殿

上上 〇 秋野野郎の南畑  
〇 びおんの流れはあつちの御殿  
よあつちの流れはあつちの御殿  
〇 びおんの流れはあつちの御殿  
あつちの流れはあつちの御殿  
〇 びおんの流れはあつちの御殿

〇 びおんの流れはあつちの御殿  
あつちの流れはあつちの御殿  
〇 びおんの流れはあつちの御殿  
あつちの流れはあつちの御殿  
〇 びおんの流れはあつちの御殿



























あつていふるはんへ共この出あつて  
 後宮を去るおまじし御いんへ入るまじ  
 大でんく **御** 大いんとのむいひはむいん  
 よふといのいんをいふるおまじのむ  
 いまじいふるあつて **御** といふて  
 今度再入あつていふむが出来を **御** され  
 るう濟いふるあつて **御** され切程  
 といふるあつて **御** され **御** され  
 の御刺あつて **御** され **御** され  
 合まじいといふて **御** され **御** され  
 お二人の御刺あつて **御** され **御** され  
 者 **御** され **御** され **御** され  
 と **御** され **御** され **御** され  
 人が **御** され **御** され **御** され  
 とも **御** され **御** され **御** され

半せぬは **御** され **御** され **御** され  
 以 **御** され **御** され **御** され  
 度 **御** され **御** され **御** され  
 故 **御** され **御** され **御** され  
 事 **御** され **御** され **御** され  
 け **御** され **御** され **御** され  
 此 **御** され **御** され **御** され  
 い **御** され **御** され **御** され  
 め **御** され **御** され **御** され  
 こ **御** され **御** され **御** され  
 増 **御** され **御** され **御** され  
 さ **御** され **御** され **御** され  
 や **御** され **御** され **御** され  
 而 **御** され **御** され **御** され  
 とい **御** され **御** され **御** され































大坂府河内郡大津市  
府本三井電氣支所

夜 出村播八

夜 出村可情

夜 出村金吉

夜 出村清九郎

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

大坂府河内郡大津市  
細工人行田陸貞

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 尾三友

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉

夜 出村金吉







文化  
乙亥

松本藩文庫

江戸

文化  
十二年

多  
236  
142







江戸三芝居惣役者月録

三芝居 中村勘三郎 症

寄席 中村勘三郎 症

本舞 森田中八郎 症

▲惣中坂の夜ふまゝのじ

天上吉 助言屋多助 市村

真上吉 笑と恋夜と花(切ざりし) 市村

大上吉 松本春彦(市村) 市村

▲春 首

真上吉 中村勘三郎 市村

上上吉 一才(市村) 市村

▲列 座

上上吉 市村 市村

上上吉 市村 市村

上上吉 市村 市村

上上吉 市村 市村

上上吉 市村 市村

上上吉 市村 市村

上上吉 市村 市村

上上吉 市村 市村

上上吉 市村 市村



上上吉

伊村松田 中村

土世一ノ百廿二ノ百廿三ノ百廿四ノ百廿五ノ百廿六ノ百廿七ノ百廿八ノ百廿九ノ百三十

上上吉

中村東野 口庄

百八ノ百八十一ノ百八十二ノ百八十三ノ百八十四ノ百八十五ノ百八十六ノ百八十七ノ百八十八ノ百八十九ノ百九十

上上吉

中山徳吉 口庄

百九ノ百九十二ノ百九十三ノ百九十四ノ百九十五ノ百九十六ノ百九十七ノ百九十八ノ百九十九ノ百一十

上上吉

尾上俊三 口庄

百一十一ノ百一十二ノ百一十三ノ百一十四ノ百一十五ノ百一十六ノ百一十七ノ百一十八ノ百一十九ノ百二十

尾井多吉 口庄

百二十一ノ百二十二ノ百二十三ノ百二十四ノ百二十五ノ百二十六ノ百二十七ノ百二十八ノ百二十九ノ百三十

上上

南川徳吉 中村

百三十一ノ百三十二ノ百三十三ノ百三十四ノ百三十五ノ百三十六ノ百三十七ノ百三十八ノ百三十九ノ百四十

松本多吉 一村

百四十一ノ百四十二ノ百四十三ノ百四十四ノ百四十五ノ百四十六ノ百四十七ノ百四十八ノ百四十九ノ百五十

上上

南川三平 赤田

百六十一ノ百六十二ノ百六十三ノ百六十四ノ百六十五ノ百六十六ノ百六十七ノ百六十八ノ百六十九ノ百七十

和あつたふかつてく大長紋板  
出せし七段の階也。安堂板

上

中村徳吉 中村

百八十一ノ百八十二ノ百八十三ノ百八十四ノ百八十五ノ百八十六ノ百八十七ノ百八十八ノ百八十九ノ百九十

南川平次郎 南村

百九十一ノ百九十二ノ百九十三ノ百九十四ノ百九十五ノ百九十六ノ百九十七ノ百九十八ノ百九十九ノ百一十

南川徳吉 中村

百一十一ノ百一十二ノ百一十三ノ百一十四ノ百一十五ノ百一十六ノ百一十七ノ百一十八ノ百一十九ノ百二十

南川多吉 南村

百三十一ノ百三十二ノ百三十三ノ百三十四ノ百三十五ノ百三十六ノ百三十七ノ百三十八ノ百三十九ノ百四十

上上吉

尾上松次 中村

百五十一ノ百五十二ノ百五十三ノ百五十四ノ百五十五ノ百五十六ノ百五十七ノ百五十八ノ百五十九ノ百六十

上上吉

南川多吉 中村

百七十一ノ百七十二ノ百七十三ノ百七十四ノ百七十五ノ百七十六ノ百七十七ノ百七十八ノ百七十九ノ百八十

上上吉

南川多吉 中村

百九十一ノ百九十二ノ百九十三ノ百九十四ノ百九十五ノ百九十六ノ百九十七ノ百九十八ノ百九十九ノ百一十

上上吉

南川多吉 南村

百一十一ノ百一十二ノ百一十三ノ百一十四ノ百一十五ノ百一十六ノ百一十七ノ百一十八ノ百一十九ノ百二十

美濃の多吉人七月月板  
ういふの板もく板板



上上言

中山舎部

角村

上上士

常山丸彦

岸村

網海城五郎

岸村

上上書

常川おの江

岸村

山手方地

藤田

上上士

大谷明彦

藤田

仲山門三

岸村

上上士

戸田松助

藤田

上上十

後東三徳三

岸村

上上一

中村敬彦

藤田

沢村金平

川越

上上

松本小次郎

岸村

後東源次

川越

小川重吉

藤田

常川遊義

体

上上

大谷慶太郎

岸村

岩井梅吉

川越

種あるも此方の名を全録故



上上

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

上上

上上

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

上上

市川源三郎 中村

市川源三郎 中村







▲ 薩系族の姓支那

上上吉 南川三彦 市

又物がやぶるくくくくくくくくくく

御妻名金彦 市

四州はも林の多くの山を改

上上士

御妻名金彦 市

一二のくくくくくくくくくく

御妻名金彦 市

五者のかたの男を小山改

御妻名金彦 市

ゆくくくくくくくくくく

上上士

南川男彦 市

まきまきまきまきまきまきまき

南川彦 市

去年より今年へかまみかみ

改東又改 市

木人のくくくくくくくくくく

上上

岩井彦彦 市

改東又改 市

くくくくくくくくくく

南川彦彦 市

岩井彦彦 市

くくくくくくくくくく

改東又改 市

南川彦彦 市

岩井彦彦 市

天神の利生のかく切玉

中野彦彦 市

南川彦彦 市

改東又改 市

あつたむかふくくくくくく

改東又改 市

北東のくくくくくくくく

南川彦彦 市

改東又改 市

南川彦彦 市

改東又改 市

南川彦彦 市

上

上上

薩

山



上

会ノとらぬいふその行合と

徳尾方吉

ヨリ

平河(やうり)のかくみざり

尾と松助

中

有川三吉

中

上

終徳子一上 有川松吉

有川三吉

上

有川三吉

有川三吉

上

有川三吉

有川三吉

上

中村三吉

中村三吉

上

中村三吉

中村三吉

上

中村三吉

中村三吉

上

中村三吉

上上吉

中村三吉

中村三吉

▲煎巻油

上上吉

中村三吉

中村三吉

太夫九之郎

上上吉

中村三吉

中村三吉

上上吉

中村三吉

中村三吉

上上吉

中村三吉

中村三吉

中村三吉

上上吉

中村三吉

中村三吉

中村三吉

▲腹丸之郎

中村三吉

中村三吉















以月... 外記... 大段...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



八月十一日ヨリ  
一世天遊湖赤妻柳

赤村柳之部文章大いふ

文化十三年自壬午五月十三日

東相院光云市丸屋の事

治名市川丸屋

おもしろいもの事代へはせぬ

かゝるの舟の事代へはせぬ

治名尾上雷助

文化十三年二月十日

行波院喜喜常楽堂

治名後東喜喜

文化十三年四月七日

常楽院喜喜常楽堂

治名市川丸屋

おもしろいもの事代へはせぬ

治名市川丸屋

おもしろいもの事代へはせぬ

新編海防巨鑑

昔の事海防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ

防の事代へはせぬ







































此の通り  
津村座



津村座



本橋町  
森田座



本橋町















おどろかたてく<sup>四</sup>田老<sup>五</sup>に上<sup>六</sup>に松原政<sup>七</sup>は  
とられがあらまう老のうて老女と  
こまぶさうし<sup>八</sup>まうま<sup>九</sup>申老<sup>十</sup>うも  
ま<sup>十一</sup>評わく<sup>十二</sup>孫念<sup>十三</sup>く<sup>十四</sup>物<sup>十五</sup>三<sup>十六</sup>建<sup>十七</sup>同<sup>十八</sup>常<sup>十九</sup>陸  
之介と成<sup>二十</sup>法<sup>二十一</sup>ま<sup>二十二</sup>尾<sup>二十三</sup>との<sup>二十四</sup>守<sup>二十五</sup>う<sup>二十六</sup>の<sup>二十七</sup>軍<sup>二十八</sup>介  
あて<sup>二十九</sup>お<sup>三十</sup>ま<sup>三十一</sup>との<sup>三十二</sup>そ<sup>三十三</sup>ち<sup>三十四</sup>り<sup>三十五</sup>の<sup>三十六</sup>又<sup>三十七</sup>切<sup>三十八</sup>上  
り<sup>三十九</sup>れ<sup>四十</sup>西<sup>四十一</sup>能<sup>四十二</sup>た<sup>四十三</sup>ち<sup>四十四</sup>ま<sup>四十五</sup>ま<sup>四十六</sup>す<sup>四十七</sup>く<sup>四十八</sup>陸<sup>四十九</sup>老<sup>五十</sup>  
之<sup>五十一</sup>岫<sup>五十二</sup>三<sup>五十三</sup>原<sup>五十四</sup>尾<sup>五十五</sup>澤<sup>五十六</sup>す<sup>五十七</sup>く<sup>五十八</sup>と<sup>五十九</sup>り<sup>六十</sup>川<sup>六十一</sup>の<sup>六十二</sup>ま<sup>六十三</sup>が  
天<sup>六十四</sup>空<sup>六十五</sup>値<sup>六十六</sup>ま<sup>六十七</sup>別<sup>六十八</sup>亦<sup>六十九</sup>ま<sup>七十</sup>る<sup>七十一</sup>ち<sup>七十二</sup>中<sup>七十三</sup>と<sup>七十四</sup>し<sup>七十五</sup>評<sup>七十六</sup>  
又<sup>七十七</sup>お<sup>七十八</sup>一<sup>七十九</sup>統<sup>八十</sup>お<sup>八十一</sup>収<sup>八十二</sup>ひ<sup>八十三</sup>す<sup>八十四</sup>く<sup>八十五</sup>と<sup>八十六</sup>ら<sup>八十七</sup>を<sup>八十八</sup>大<sup>八十九</sup>社<sup>九十</sup>の<sup>九十一</sup>人  
の<sup>九十二</sup>く<sup>九十三</sup>二<sup>九十四</sup>を<sup>九十五</sup>か<sup>九十六</sup>ま<sup>九十七</sup>ね<sup>九十八</sup>て<sup>九十九</sup>と<sup>一百</sup>外<sup>一百一</sup>に<sup>一百二</sup>要<sup>一百三</sup>ね<sup>一百四</sup>が<sup>一百五</sup>  
又<sup>一百六</sup>十二月<sup>一百七</sup>の<sup>一百八</sup>亦<sup>一百九</sup>能<sup>二百</sup>の<sup>二百一</sup>十二<sup>二百二</sup>や<sup>二百三</sup>た<sup>二百四</sup>後<sup>二百五</sup>お<sup>二百六</sup>ま<sup>二百七</sup>ら<sup>二百八</sup>れ<sup>二百九</sup>  
く<sup>三百</sup>そ<sup>三百一</sup>ま<sup>三百二</sup>を<sup>三百三</sup>ね<sup>三百四</sup>く<sup>三百五</sup>ふ<sup>三百六</sup>亦<sup>三百七</sup>能<sup>三百八</sup>あ<sup>三百九</sup>つ<sup>四百</sup>た<sup>四百一</sup>の<sup>四百二</sup>う<sup>四百三</sup>く<sup>四百四</sup>桂<sup>四百五</sup>川  
お<sup>四百六</sup>ま<sup>四百七</sup>ま<sup>四百八</sup>ま<sup>四百九</sup>ま<sup>五百</sup>ま<sup>五百一</sup>ま<sup>五百二</sup>ま<sup>五百三</sup>ま<sup>五百四</sup>ま<sup>五百五</sup>ま<sup>五百六</sup>ま<sup>五百七</sup>ま<sup>五百八</sup>ま<sup>五百九</sup>ま<sup>六百</sup>  
<sup>六百一</sup>河<sup>六百二</sup>流<sup>六百三</sup>入<sup>六百四</sup>果<sup>六百五</sup>流<sup>六百六</sup>の<sup>六百七</sup>が<sup>六百八</sup>ま<sup>六百九</sup>ま<sup>七百</sup>ま<sup>七百一</sup>ま<sup>七百二</sup>ま<sup>七百三</sup>ま<sup>七百四</sup>ま<sup>七百五</sup>ま<sup>七百六</sup>ま<sup>七百七</sup>ま<sup>七百八</sup>ま<sup>七百九</sup>ま<sup>八百</sup>

め<sup>八百一</sup>三<sup>八百二</sup>を<sup>八百三</sup>め<sup>八百四</sup>が<sup>八百五</sup>せ<sup>八百六</sup>後<sup>八百七</sup>す<sup>八百八</sup>と<sup>八百九</sup>ま<sup>九百</sup>ま<sup>九百一</sup>ま<sup>九百二</sup>ま<sup>九百三</sup>ま<sup>九百四</sup>ま<sup>九百五</sup>ま<sup>九百六</sup>ま<sup>九百七</sup>ま<sup>九百八</sup>ま<sup>九百九</sup>ま<sup>一千</sup>  
外<sup>一千一</sup>果<sup>一千二</sup>の<sup>一千三</sup>お<sup>一千四</sup>ま<sup>一千五</sup>ま<sup>一千六</sup>ま<sup>一千七</sup>ま<sup>一千八</sup>ま<sup>一千九</sup>ま<sup>二千</sup>ま<sup>二千一</sup>ま<sup>二千二</sup>ま<sup>二千三</sup>ま<sup>二千四</sup>ま<sup>二千五</sup>ま<sup>二千六</sup>ま<sup>二千七</sup>ま<sup>二千八</sup>ま<sup>二千九</sup>ま<sup>三千</sup>  
ま<sup>三千一</sup>ま<sup>三千二</sup>ま<sup>三千三</sup>ま<sup>三千四</sup>ま<sup>三千五</sup>ま<sup>三千六</sup>ま<sup>三千七</sup>ま<sup>三千八</sup>ま<sup>三千九</sup>ま<sup>四千</sup>ま<sup>四千一</sup>ま<sup>四千二</sup>ま<sup>四千三</sup>ま<sup>四千四</sup>ま<sup>四千五</sup>ま<sup>四千六</sup>ま<sup>四千七</sup>ま<sup>四千八</sup>ま<sup>四千九</sup>ま<sup>五千</sup>  
ま<sup>五千一</sup>ま<sup>五千二</sup>ま<sup>五千三</sup>ま<sup>五千四</sup>ま<sup>五千五</sup>ま<sup>五千六</sup>ま<sup>五千七</sup>ま<sup>五千八</sup>ま<sup>五千九</sup>ま<sup>六千</sup>ま<sup>六千一</sup>ま<sup>六千二</sup>ま<sup>六千三</sup>ま<sup>六千四</sup>ま<sup>六千五</sup>ま<sup>六千六</sup>ま<sup>六千七</sup>ま<sup>六千八</sup>ま<sup>六千九</sup>ま<sup>七千</sup>  
ま<sup>七千一</sup>ま<sup>七千二</sup>ま<sup>七千三</sup>ま<sup>七千四</sup>ま<sup>七千五</sup>ま<sup>七千六</sup>ま<sup>七千七</sup>ま<sup>七千八</sup>ま<sup>七千九</sup>ま<sup>八千</sup>ま<sup>八千一</sup>ま<sup>八千二</sup>ま<sup>八千三</sup>ま<sup>八千四</sup>ま<sup>八千五</sup>ま<sup>八千六</sup>ま<sup>八千七</sup>ま<sup>八千八</sup>ま<sup>八千九</sup>ま<sup>九千</sup>  
ま<sup>九千一</sup>ま<sup>九千二</sup>ま<sup>九千三</sup>ま<sup>九千四</sup>ま<sup>九千五</sup>ま<sup>九千六</sup>ま<sup>九千七</sup>ま<sup>九千八</sup>ま<sup>九千九</sup>ま<sup>一万</sup>ま<sup>一万一</sup>ま<sup>一万二</sup>ま<sup>一万三</sup>ま<sup>一万四</sup>ま<sup>一万五</sup>ま<sup>一万六</sup>ま<sup>一万七</sup>ま<sup>一万八</sup>ま<sup>一万九</sup>ま<sup>二万</sup>  
ま<sup>二万一</sup>ま<sup>二万二</sup>ま<sup>二万三</sup>ま<sup>二万四</sup>ま<sup>二万五</sup>ま<sup>二万六</sup>ま<sup>二万七</sup>ま<sup>二万八</sup>ま<sup>二万九</sup>ま<sup>三万</sup>ま<sup>三万一</sup>ま<sup>三万二</sup>ま<sup>三万三</sup>ま<sup>三万四</sup>ま<sup>三万五</sup>ま<sup>三万六</sup>ま<sup>三万七</sup>ま<sup>三万八</sup>ま<sup>三万九</sup>ま<sup>四万</sup>  
ま<sup>四万一</sup>ま<sup>四万二</sup>ま<sup>四万三</sup>ま<sup>四万四</sup>ま<sup>四万五</sup>ま<sup>四万六</sup>ま<sup>四万七</sup>ま<sup>四万八</sup>ま<sup>四万九</sup>ま<sup>五万</sup>ま<sup>五万一</sup>ま<sup>五万二</sup>ま<sup>五万三</sup>ま<sup>五万四</sup>ま<sup>五万五</sup>ま<sup>五万六</sup>ま<sup>五万七</sup>ま<sup>五万八</sup>ま<sup>五万九</sup>ま<sup>六万</sup>  
ま<sup>六万一</sup>ま<sup>六万二</sup>ま<sup>六万三</sup>ま<sup>六万四</sup>ま<sup>六万五</sup>ま<sup>六万六</sup>ま<sup>六万七</sup>ま<sup>六万八</sup>ま<sup>六万九</sup>ま<sup>七万</sup>ま<sup>七万一</sup>ま<sup>七万二</sup>ま<sup>七万三</sup>ま<sup>七万四</sup>ま<sup>七万五</sup>ま<sup>七万六</sup>ま<sup>七万七</sup>ま<sup>七万八</sup>ま<sup>七万九</sup>ま<sup>八万</sup>  
ま<sup>八万一</sup>ま<sup>八万二</sup>ま<sup>八万三</sup>ま<sup>八万四</sup>ま<sup>八万五</sup>ま<sup>八万六</sup>ま<sup>八万七</sup>ま<sup>八万八</sup>ま<sup>八万九</sup>ま<sup>九万</sup>ま<sup>九万一</sup>ま<sup>九万二</sup>ま<sup>九万三</sup>ま<sup>九万四</sup>ま<sup>九万五</sup>ま<sup>九万六</sup>ま<sup>九万七</sup>ま<sup>九万八</sup>ま<sup>九万九</sup>ま<sup>十万</sup>




















かゝるはひやうかんさうとて女房うらふ人  
 中へと大あつて入お流しぬ能いど  
 してれどおりの百浪をよりの田を  
 ころうてはあ念がうやうぞ **強** 直  
 とぬれ出さして十月廿七日未だこころ  
 しくはあのかよりえへ瑞室く高敷をせ  
 け之建目えすうよ浪のにおやあ流  
 と巡りの小女帯梳とぬ直村家道とを  
 きのえ大あつて二をぬ厚さうふいよと  
 こぬさとひいて百浪を素小女帯梳  
 け直他の二やあつてうの相良しおへ  
 向の **強** さうふいよとぬとぬさ  
 上まとの前ひひさうゆり中して流能  
 もやよど上女あまのひはぬれうとく  
 おまうもあつてんとぬ東乗まとの所

引合よそぬ目うへはりまをやよまの  
 浪のまぬえとさう外あえくゆひの  
 ぬうひ上まと **大** 強 けつうく小女  
 梳の大のうらちのま **大** 強 刺いせ  
 のは流ぬううく大ぬさうととの西  
 化さうくしてぬまうまぬさうのうくぬ  
 ねえのじ上方もあけをゆてあうまを  
 上上吉  尾上梅香 中筋  
**強** 考ぬやてこころま **強** 之程尾上  
 菊のうはへ天ぬさの年あく大坂中の  
 けよあつていふをねえよあ人もまぬ  
 中がゆ世の名あつてぬを後天ぬさの  
 年寅あ尾上せく分ぬさ菊あくと改  
 年け年あつてぬさのまぬさのまぬさ  
 られが是ゆても早世いこれあつてぬさ



















いへば<sup>一</sup>西<sup>二</sup>ぬが不そて崩たのべ  
 一<sup>三</sup>中<sup>四</sup>い<sup>五</sup>そ<sup>六</sup>ぞ<sup>七</sup>西<sup>八</sup>ぬ<sup>九</sup>が<sup>一〇</sup>不<sup>一一</sup>そ<sup>一二</sup>て<sup>一三</sup>崩<sup>一四</sup>た<sup>一五</sup>の<sup>一六</sup>べ  
 未<sup>一七</sup>き<sup>一八</sup>が<sup>一九</sup>だ<sup>二〇</sup>な<sup>二一</sup>れ<sup>二二</sup>て<sup>二三</sup>あ<sup>二四</sup>る<sup>二五</sup>も<sup>二六</sup>く<sup>二七</sup>せ<sup>二八</sup>ら<sup>二九</sup>れ<sup>三〇</sup>い<sup>三一</sup>い<sup>三二</sup>  
 う<sup>三三</sup>ぬ<sup>三四</sup>ひ<sup>三五</sup>対<sup>三六</sup>証<sup>三七</sup>を<sup>三八</sup>か<sup>三九</sup>ぞ<sup>四〇</sup>も<sup>四一</sup>う<sup>四二</sup>ら<sup>四三</sup>あ<sup>四四</sup>ら<sup>四五</sup>う<sup>四六</sup>  
 う<sup>四七</sup>証<sup>四八</sup>が<sup>四九</sup>あ<sup>五〇</sup>ら<sup>五一</sup>う<sup>五二</sup>と<sup>五三</sup>あ<sup>五四</sup>ら<sup>五五</sup>あ<sup>五六</sup>ら<sup>五七</sup>う<sup>五八</sup>う<sup>五九</sup>ら<sup>六〇</sup>あ<sup>六一</sup>ら<sup>六二</sup>  
 い<sup>六三</sup>を<sup>六四</sup>西<sup>六五</sup>ぬ<sup>六六</sup>が<sup>六七</sup>あ<sup>六八</sup>ら<sup>六九</sup>う<sup>七〇</sup>あ<sup>七一</sup>ら<sup>七二</sup>う<sup>七三</sup>あ<sup>七四</sup>ら<sup>七五</sup>う<sup>七六</sup>  
 も<sup>七七</sup>せ<sup>七八</sup>れ<sup>七九</sup>あ<sup>八〇</sup>ら<sup>八一</sup>う<sup>八二</sup>あ<sup>八三</sup>ら<sup>八四</sup>う<sup>八五</sup>あ<sup>八六</sup>ら<sup>八七</sup>う<sup>八八</sup>あ<sup>八九</sup>ら<sup>九〇</sup>  
 が<sup>九一</sup>い<sup>九二</sup>中<sup>九三</sup>の<sup>九四</sup>上<sup>九五</sup>方<sup>九六</sup>で<sup>九七</sup>証<sup>九八</sup>を<sup>九九</sup>新<sup>一〇〇</sup>ま<sup>一〇一</sup>とい<sup>一〇二</sup>は<sup>一〇三</sup>彼<sup>一〇四</sup>中<sup>一〇五</sup>  
 也<sup>一〇六</sup>い<sup>一〇七</sup>ん<sup>一〇八</sup>よ<sup>一〇九</sup>と<sup>一一〇</sup>あ<sup>一一一</sup>ら<sup>一一二</sup>う<sup>一一三</sup>あ<sup>一一四</sup>ら<sup>一一五</sup>う<sup>一一六</sup>  
 が<sup>一一七</sup>は<sup>一一八</sup>あ<sup>一一九</sup>ら<sup>一二〇</sup>う<sup>一二一</sup>あ<sup>一二二</sup>ら<sup>一二三</sup>う<sup>一二四</sup>あ<sup>一二五</sup>ら<sup>一二六</sup>  
 合<sup>一二七</sup>う<sup>一二八</sup>ら<sup>一二九</sup>あ<sup>一三〇</sup>ら<sup>一三一</sup>う<sup>一三二</sup>あ<sup>一三三</sup>ら<sup>一三四</sup>う<sup>一三五</sup>あ<sup>一三六</sup>  
 ら<sup>一三七</sup>う<sup>一三八</sup>ぬ<sup>一三九</sup>は<sup>一四〇</sup>上<sup>一四一</sup>中<sup>一四二</sup>下<sup>一四三</sup>也<sup>一四四</sup>西<sup>一四五</sup>ぬ<sup>一四六</sup>  
 孫<sup>一四七</sup>う<sup>一四八</sup>の<sup>一四九</sup>所<sup>一五〇</sup>を<sup>一五一</sup>あ<sup>一五二</sup>ら<sup>一五三</sup>う<sup>一五四</sup>あ<sup>一五五</sup>ら<sup>一五六</sup>う<sup>一五七</sup>  
 う<sup>一五八</sup>こ<sup>一五九</sup>ぞ<sup>一六〇</sup>う<sup>一六一</sup>う<sup>一六二</sup>あ<sup>一六三</sup>ら<sup>一六四</sup>う<sup>一六五</sup>あ<sup>一六六</sup>ら<sup>一六七</sup>  
 う<sup>一六八</sup>こ<sup>一六九</sup>ぞ<sup>一七〇</sup>う<sup>一七一</sup>あ<sup>一七二</sup>ら<sup>一七三</sup>う<sup>一七四</sup>あ<sup>一七五</sup>ら<sup>一七六</sup>  
 う<sup>一七八</sup>こ<sup>一七九</sup>ぞ<sup>一八〇</sup>う<sup>一八一</sup>あ<sup>一八二</sup>ら<sup>一八三</sup>う<sup>一八四</sup>あ<sup>一八五</sup>ら<sup>一八六</sup>  
 う<sup>一八八</sup>こ<sup>一八九</sup>ぞ<sup>一九〇</sup>う<sup>一九一</sup>あ<sup>一九二</sup>ら<sup>一九三</sup>う<sup>一九四</sup>あ<sup>一九五</sup>ら<sup>一九六</sup>

生<sup>一</sup>年<sup>二</sup>も<sup>三</sup>い<sup>四</sup>あ<sup>五</sup>り<sup>六</sup>れ<sup>七</sup>き<sup>八</sup>き<sup>九</sup>で<sup>一〇</sup>梅<sup>一一</sup>と<sup>一二</sup>お<sup>一三</sup>の<sup>一四</sup>こ<sup>一五</sup>を<sup>一六</sup>  
 時<sup>一七</sup>分<sup>一八</sup>と<sup>一九</sup>い<sup>二〇</sup>せ<sup>二一</sup>く<sup>二二</sup>と<sup>二三</sup>場<sup>二四</sup>あ<sup>二五</sup>ら<sup>二六</sup>う<sup>二七</sup>あ<sup>二八</sup>く<sup>二九</sup>狂<sup>三〇</sup>を<sup>三一</sup>狂<sup>三二</sup>  
 で<sup>三三</sup>狂<sup>三四</sup>を<sup>三五</sup>放<sup>三六</sup>ら<sup>三七</sup>ち<sup>三八</sup>ま<sup>三九</sup>ら<sup>四〇</sup>あ<sup>四一</sup>ら<sup>四二</sup>う<sup>四三</sup>あ<sup>四四</sup>ら<sup>四五</sup>う<sup>四六</sup>  
 け<sup>四七</sup>う<sup>四八</sup>ら<sup>四九</sup>ぬ<sup>五〇</sup>が<sup>五一</sup>狂<sup>五二</sup>念<sup>五三</sup>く<sup>五四</sup>狂<sup>五五</sup>念<sup>五六</sup>も<sup>五七</sup>あ<sup>五八</sup>れ<sup>五九</sup>あ<sup>六〇</sup>ら<sup>六一</sup>  
 て<sup>六二</sup>の<sup>六三</sup>ま<sup>六四</sup>を<sup>六五</sup>狂<sup>六六</sup>念<sup>六七</sup>それ<sup>六八</sup>を<sup>六九</sup>狂<sup>七〇</sup>念<sup>七一</sup>を<sup>七二</sup>狂<sup>七三</sup>  
 そ<sup>七四</sup>う<sup>七五</sup>こ<sup>七六</sup>れ<sup>七七</sup>ぬ<sup>七八</sup>あ<sup>七九</sup>ら<sup>八〇</sup>う<sup>八一</sup>あ<sup>八二</sup>ら<sup>八三</sup>う<sup>八四</sup>あ<sup>八五</sup>ら<sup>八六</sup>  
 う<sup>八七</sup>さん<sup>八八</sup>と<sup>八九</sup>小<sup>九〇</sup>あ<sup>九一</sup>ら<sup>九二</sup>と<sup>九三</sup>れ<sup>九四</sup>お<sup>九五</sup>う<sup>九六</sup>ら<sup>九七</sup>う<sup>九八</sup>あ<sup>九九</sup>ら<sup>一〇〇</sup>  
 う<sup>一〇二</sup>念<sup>一〇三</sup>れ<sup>一〇四</sup>あ<sup>一〇五</sup>ら<sup>一〇六</sup>う<sup>一〇七</sup>あ<sup>一〇八</sup>ら<sup>一〇九</sup>う<sup>一一〇</sup>あ<sup>一一一</sup>ら<sup>一一二</sup>  
 う<sup>一一三</sup>ら<sup>一一四</sup>う<sup>一一五</sup>あ<sup>一一六</sup>ら<sup>一一七</sup>う<sup>一一八</sup>あ<sup>一一九</sup>ら<sup>一二〇</sup>う<sup>一二一</sup>  
 う<sup>一二二</sup>ら<sup>一二三</sup>う<sup>一二四</sup>あ<sup>一二五</sup>ら<sup>一二六</sup>う<sup>一二七</sup>あ<sup>一二八</sup>ら<sup>一二九</sup>う<sup>一三〇</sup>  
 う<sup>一三二</sup>ら<sup>一三三</sup>う<sup>一三四</sup>あ<sup>一三五</sup>ら<sup>一三六</sup>う<sup>一三七</sup>あ<sup>一三八</sup>ら<sup>一三九</sup>う<sup>一四〇</sup>  
 う<sup>一四2</sup>ら<sup>一四3</sup>う<sup>一四4</sup>あ<sup>一四5</sup>ら<sup>一四6</sup>う<sup>一四7</sup>あ<sup>一四8</sup>ら<sup>一四9</sup>う<sup>一五〇</sup>  
 う<sup>一五2</sup>ら<sup>一五3</sup>う<sup>一五4</sup>あ<sup>一五5</sup>ら<sup>一五6</sup>う<sup>一五7</sup>あ<sup>一五8</sup>ら<sup>一五9</sup>う<sup>一六〇</sup>  
 う<sup>一六2</sup>ら<sup>一六3</sup>う<sup>一六4</sup>あ<sup>一六5</sup>ら<sup>一六6</sup>う<sup>一六7</sup>あ<sup>一六8</sup>ら<sup>一六9</sup>う<sup>一七〇</sup>  
 う<sup>一七2</sup>ら<sup>一七3</sup>う<sup>一七4</sup>あ<sup>一七5</sup>ら<sup>一七6</sup>う<sup>一七7</sup>あ<sup>一七8</sup>ら<sup>一七9</sup>う<sup>一八〇</sup>  
 う<sup>一八2</sup>ら<sup>一八3</sup>う<sup>一八4</sup>あ<sup>一八5</sup>ら<sup>一八6</sup>う<sup>一八7</sup>あ<sup>一八8</sup>ら<sup>一八9</sup>う<sup>一九〇</sup>  
 う<sup>一九2</sup>ら<sup>一九3</sup>う<sup>一九4</sup>あ<sup>一九5</sup>ら<sup>一九6</sup>う<sup>一九7</sup>あ<sup>一九8</sup>ら<sup>一九9</sup>う<sup>二〇〇</sup>



船越十五高と成仁と志がり長尾と  
 こつと吟味とて平うと深き深と新  
 左衛門とておとがおとるやゆはて別為  
 と合婚と志を祝ふといわれはは場の  
 仕向大と死く<sup>①</sup>小中入と款と封せんと  
 三々おとるはし七まめきあの馬場も  
 久々おとるを<sup>②</sup>居て血泣とあれ内吞  
 とよ腹大切<sup>③</sup>生てヤ宮内<sup>④</sup>に奉り  
 写しおとるの三三<sup>⑤</sup>とさるの刺左何と  
 されても又おとるはし外高<sup>⑥</sup>世世<sup>⑦</sup>因に  
 して後<sup>⑧</sup>中<sup>⑨</sup>猪<sup>⑩</sup>中<sup>⑪</sup>幼女<sup>⑫</sup>抱<sup>⑬</sup>と中  
 此<sup>⑭</sup>出<sup>⑮</sup>三<sup>⑯</sup>入<sup>⑰</sup>の<sup>⑱</sup>又<sup>⑲</sup>建<sup>⑳</sup>め<sup>㉑</sup>冠<sup>㉒</sup>虎<sup>㉓</sup>とて<sup>㉔</sup>あ<sup>㉕</sup>は<sup>㉖</sup>は<sup>㉗</sup>が  
 衣<sup>㉘</sup>礼<sup>㉙</sup>と<sup>㉚</sup>さ<sup>㉛</sup>る<sup>㉜</sup>ふ<sup>㉝</sup>は<sup>㉞</sup>二<sup>㉟</sup>中<sup>㊱</sup>志<sup>㊲</sup>ひ<sup>㊳</sup>花<sup>㊴</sup>と<sup>㊵</sup>換  
 糸<sup>㊶</sup>つ<sup>㊷</sup>く<sup>㊸</sup>ひ<sup>㊹</sup>の<sup>㊺</sup>港<sup>㊻</sup>と<sup>㊼</sup>た<sup>㊽</sup>て<sup>㊾</sup>二<sup>㊿</sup>階<sup>㊱</sup>の<sup>㊲</sup>飛<sup>㊳</sup>と<sup>㊴</sup>り<sup>㊵</sup>と  
 糸<sup>㊶</sup>の<sup>㊷</sup>て<sup>㊸</sup>就<sup>㊹</sup>名<sup>㊺</sup>録<sup>㊻</sup>と<sup>㊼</sup>た<sup>㊽</sup>て<sup>㊾</sup>お<sup>㊿</sup>と<sup>㊱</sup>り<sup>㊲</sup>と<sup>㊳</sup>乃

けりよおとる坂<sup>①</sup>中<sup>②</sup>か<sup>③</sup>の<sup>④</sup>り<sup>⑤</sup>大<sup>⑥</sup>せ<sup>⑦</sup>と  
 中<sup>⑧</sup>り<sup>⑨</sup>れ<sup>⑩</sup>を<sup>⑪</sup>古<sup>⑫</sup>今<sup>⑬</sup>の<sup>⑭</sup>大<sup>⑮</sup>で<sup>⑯</sup>死<sup>⑰</sup>く<sup>⑱</sup>は<sup>㉑</sup>後<sup>㉒</sup>長<sup>㉓</sup>後<sup>㉔</sup>祝  
 又<sup>㉕</sup>中<sup>㉖</sup>く<sup>㉗</sup>又<sup>㉘</sup>帝<sup>㉙</sup>七<sup>㉚</sup>海<sup>㉛</sup>う<sup>㉜</sup>り<sup>㉝</sup>よ<sup>㉞</sup>お<sup>㉟</sup>と<sup>㊱</sup>り<sup>㊲</sup>の<sup>㊳</sup>二<sup>㊴</sup>水<sup>㊵</sup>死  
 の<sup>㊶</sup>大<sup>㊷</sup>陣<sup>㊸</sup>刺<sup>㊹</sup>大<sup>㊺</sup>入<sup>㊻</sup>と<sup>㊼</sup>お<sup>㊽</sup>と<sup>㊾</sup>う<sup>㊿</sup>く

上上書

①

沢村に帝

西<sup>①</sup>の<sup>②</sup>川<sup>③</sup>流<sup>④</sup>と<sup>⑤</sup>て<sup>⑥</sup>さ<sup>⑦</sup>う<sup>⑧</sup>ま<sup>⑨</sup>と<sup>⑩</sup>大<sup>⑪</sup>き<sup>⑫</sup>の<sup>⑬</sup>川<sup>⑭</sup>淵<sup>⑮</sup>と

中<sup>①</sup>と<sup>②</sup>平<sup>③</sup>と<sup>④</sup>あ<sup>⑤</sup>ら<sup>⑥</sup>の<sup>⑦</sup>飛<sup>⑧</sup>と<sup>⑨</sup>さ<sup>⑩</sup>う<sup>⑪</sup>飛<sup>⑫</sup>と<sup>⑬</sup>さ<sup>⑭</sup>う<sup>⑮</sup>お<sup>⑯</sup>と<sup>⑰</sup>し  
 入<sup>⑱</sup>る<sup>㉑</sup>家<sup>㉒</sup>と<sup>㉓</sup>か<sup>㉔</sup>ら<sup>㉕</sup>の<sup>㉖</sup>よ<sup>㉗</sup>と<sup>㉘</sup>の<sup>㉙</sup>よ<sup>㉚</sup>と<sup>㉛</sup>う<sup>㉜</sup>と<sup>㉝</sup>あ<sup>㉞</sup>て  
 は<sup>㉟</sup>又<sup>㊱</sup>建<sup>㊲</sup>同<sup>㊳</sup>の<sup>㊴</sup>軍<sup>㊵</sup>分<sup>㊶</sup>と<sup>㊷</sup>さ<sup>㊸</sup>り<sup>㊹</sup>れ<sup>㊺</sup>と<sup>㊻</sup>よ<sup>㊼</sup>と<sup>㊽</sup>ら  
 と<sup>㊾</sup>の<sup>㊿</sup>今<sup>㊱</sup>并<sup>㊲</sup>の<sup>㊳</sup>如<sup>㊴</sup>き<sup>㊵</sup>あ<sup>㊶</sup>ら<sup>㊷</sup>と<sup>㊸</sup>あ<sup>㊹</sup>て<sup>㊺</sup>あ<sup>㊻</sup>ら<sup>㊼</sup>流  
 ち<sup>㊽</sup>ら<sup>㊾</sup>と<sup>㊿</sup>れ<sup>㊱</sup>後<sup>㊲</sup>金<sup>㊳</sup>中<sup>㊴</sup>金<sup>㊵</sup>持<sup>㊶</sup>大<sup>㊷</sup>孫<sup>㊸</sup>宗<sup>㊹</sup>と  
 れ<sup>㊺</sup>い<sup>㊻</sup>と<sup>㊼</sup>こ<sup>㊽</sup>こ<sup>㊾</sup>二<sup>㊿</sup>と<sup>㊱</sup>入<sup>㊲</sup>め<sup>㊳</sup>と<sup>㊴</sup>か<sup>㊵</sup>お<sup>㊶</sup>と<sup>㊷</sup>の<sup>㊸</sup>が<sup>㊹</sup>う<sup>㊺</sup>け  
 ち<sup>㊻</sup>ら<sup>㊼</sup>と<sup>㊽</sup>あ<sup>㊾</sup>て<sup>㊿</sup>あ<sup>㊱</sup>ら<sup>㊲</sup>の<sup>㊳</sup>あ<sup>㊴</sup>ま<sup>㊵</sup>は<sup>㊶</sup>し<sup>㊷</sup>よ<sup>㊸</sup>と<sup>㊹</sup>さ<sup>㊺</sup>う  
 ち<sup>㊻</sup>ら<sup>㊼</sup>と<sup>㊽</sup>あ<sup>㊾</sup>て<sup>㊿</sup>あ<sup>㊱</sup>ら<sup>㊲</sup>の<sup>㊳</sup>あ<sup>㊴</sup>ま<sup>㊵</sup>は<sup>㊶</sup>し<sup>㊷</sup>よ<sup>㊸</sup>と<sup>㊹</sup>さ<sup>㊺</sup>う  
 二<sup>㊻</sup>中<sup>㊼</sup>と<sup>㊽</sup>よ<sup>㊾</sup>と<sup>㊿</sup>け<sup>㊱</sup>れ<sup>㊲</sup>は<sup>㊳</sup>何<sup>㊴</sup>と<sup>㊵</sup>て<sup>㊶</sup>た<sup>㊷</sup>中<sup>㊸</sup>と<sup>㊹</sup>は<sup>㊺</sup>あ<sup>㊻</sup>ら



此等ノ賊中ノ流々々々を以て方々ノ商  
 船又て工水等成五三ノ系より政後劫  
 外ノ内にてなぐ失礼と云ふる無は二二  
 中横流を名賊名強云々今今今と  
 のせふふ志ひ流と云れそ大ありと  
 云死御しうと云孫七と云う大に  
 上上吉 ② 浪尾南宮前番在

此井つち出てころます ③ 切やて  
 もたかやぬ大まむむむむむむむ  
 くそ我々も中道にやまむむむ  
 んのあり切後て無とそむむむむ  
 他とあると大あり二三を以て  
 中し ④ 二月十日のむむむむむむ  
 主の二に大ありむむむむむむ  
 との積合々我々むむむむむむむ

浪尾流々守方大にむむむむむむ  
 じむむむむむむむむむむむむ  
 ぐぐぐぐぐぐぐぐぐぐぐぐぐぐ  
 こんがむむむむむむむむむむ  
 大ありくむむむのまむむむむ  
 物全むむむむむむむむむむむ  
 虫物平平ありとむむむむむむ  
 同中むむむむむむむむむむむ  
 又屏風とむむむむむむむむむ  
 と人のむむむむむむむむむむ  
 ぶむむむむむむむむむむむむ  
 けむむむむむむむむむむむむ  
 むむむむむむむむむむむむむ  
 はむむむむむむむむむむむむ  
 むむむむむむむむむむむむむ  
 むむむむむむむむむむむむむ















お前のまじい... 二曲のまゝな... くのまゝ表... 二二んぬ... けつも... ぬ海... て秋... 学... 西... ち... 娘... 六... が... り... 大...

さて秋の... 元... 戸... 上上書 申村東流 中村...

あ... 男...

う... ち... ひ... よ... し... は... 出... ち...



















小島は中甲のたがひしりて月と  
ふたつあつた今甲のふたつあり  
[註] 小島は中甲のたがひしりて

上上吉 回 市川女流 市川

[註] 市川女流 市川

大妻 びんがふまはら終りのあつて

さるゝさるゝさるゝさるゝさるゝ

八月の末に中甲のたがひしりて

で月がさるゝさるゝさるゝさるゝ

奉じたてつく八神はさるゝさるゝ

めす海流の中さるゝさるゝさるゝ

且るゝさるゝさるゝさるゝさるゝ

あつてさるゝさるゝさるゝさるゝ

上上吉 [圖] 市川女流 市川

[註] 市川女流 市川

持の神は佐渡中であつてさるゝ

入麻大匠はさるゝさるゝさるゝ

持方の市川の中甲のたがひしりて

三月の初年の中甲のたがひしりて

よるゝさるゝさるゝさるゝさるゝ

さるゝさるゝさるゝさるゝさるゝ

上上吉 市川門の市川 市川

[註] 市川門の市川 市川

さるゝさるゝさるゝさるゝさるゝ

利をさるゝさるゝさるゝさるゝ

味やさるゝさるゝさるゝさるゝ

さるゝさるゝさるゝさるゝさるゝ

中甲のたがひしりてさるゝさるゝ







このまゝすゝと伴賀紙二張申す  
しつりとはし八張おきかゝるまじり  
こまじりゝあるはてせし実のすやく  
ぬらうこまじり

上上土 米 市山七条 中村

既名秋のやせとありまじり 既名秋のやせとありまじり 米 秋のやせとありまじり  
既の名も不仕法抄監老切と見申すと大  
片づくよ末のたのびとてうごふ流美角力の  
本戸七とまじりて力付は秋八とまじり示  
はし世おんふまじり候やしがこゝはあ  
八條不遠流のたてをわりのすまじり  
しつりとはあるはるを不植を中屋の  
そ大評判のふよふとまじり

上上土 米 初時修高 市村

既名秋のやせとありまじり 既名秋のやせとありまじり 米 秋のやせとありまじり

よ金と後一おんふとて申すかどけ  
ては申すこと凡の市村たふては海真  
女申すてんか金縁坊はしは城のはは  
友のの娘は二やは君をふりてひ  
中へ深を深は地を中二や海若  
鹿のの申すてんふとて申すかどけ  
然必後考ののまじり候やしがこゝはあ  
おんふとて申すかどけ おんふとて申すかどけ  
やあまのてんふとて申すかどけ

上上土 米 市万形 市村

既名天をまじりて申す 既名天をまじりて申す 米 天をまじりて申す  
やや世若のまじりて申す やや世若のまじりて申す  
ふとて申すまじりて申す ふとて申すまじりて申す  
のおお申すまじり

上上土 米 市村 依



上上土 **○** 大谷門 虎 齋  
此門は 大谷門の虎齋  
此門は 大谷門の虎齋  
此門は 大谷門の虎齋  
此門は 大谷門の虎齋  
此門は 大谷門の虎齋  
此門は 大谷門の虎齋  
此門は 大谷門の虎齋  
此門は 大谷門の虎齋  
此門は 大谷門の虎齋  
此門は 大谷門の虎齋

上上土 **○** 中山門 市村  
此門は 中山門の市村  
此門は 中山門の市村  
此門は 中山門の市村  
此門は 中山門の市村  
此門は 中山門の市村  
此門は 中山門の市村  
此門は 中山門の市村  
此門は 中山門の市村  
此門は 中山門の市村  
此門は 中山門の市村

上上土 **○** 行國 齋  
此門は 行國の齋  
此門は 行國の齋  
此門は 行國の齋  
此門は 行國の齋  
此門は 行國の齋  
此門は 行國の齋  
此門は 行國の齋  
此門は 行國の齋  
此門は 行國の齋  
此門は 行國の齋







後名のまれば大坂中流を流るる者様  
一昨年よりありて市村をたのたのてり  
[記] 舟に上りて市村を流るる者様  
田庄(右)を流るる者様にて流るる者様  
かきとれん

上上 ① 沢村金平 流るる

[記] 故坂を流るる者様にて流るる者様  
とてりて流るる者様にて流るる者様  
とてりて流るる者様にて流るる者様

上上 ② 松平小次郎 流るる

[記] 多量の流るる者様にて流るる者様  
とてりて流るる者様にて流るる者様

上上 ③ 坂本長次郎 流るる

[記] 薬師の流るる者様にて流るる者様  
とてりて流るる者様にて流るる者様

上上 ④ 小川宗吉 流るる

[記] 高層の流るる者様にて流るる者様  
とてりて流るる者様にて流るる者様

上上 ⑤ 市川流 流るる

[記] 高層の流るる者様にて流るる者様  
とてりて流るる者様にて流るる者様

上上 ⑥ 大岩屋 流るる

[記] 坂本大岩屋の流るる者様にて流るる者様  
とてりて流るる者様にて流るる者様

上上 ⑦ 岩井梅屋 流るる

[記] 岩井梅屋の流るる者様にて流るる者様  
とてりて流るる者様にて流るる者様

上上 ⑧ 市川流 流るる

[記] 市川流の流るる者様にて流るる者様  
とてりて流るる者様にて流るる者様

大坂の流るる者様にて流るる者様







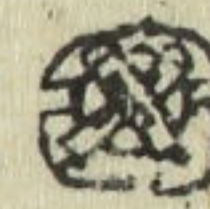
かとうていとうのちをそとにせしむるは

上戸 龍尾寺 口角

此のふたふたの節に口角にておりのりて

甲申の方地中を直ぐち方の中斗

くひを地をいれいして中をいこ



中村門の節 中村

此のふたふたの節に口角にておりのりて

ふたふたの節に口角にておりのりて

ふたふたの節に口角にておりのりて

ふたふたの節に口角にておりのりて

上戸 山井寺 山井

此のふたふたの節に口角にておりのりて

ふたふたの節に口角にておりのりて

上戸 市川寺 市川

此のふたふたの節に口角にておりのりて

ふたふたの節に口角にておりのりて

中戸 中村 中村



中村 中村

此のふたふたの節に口角にておりのりて

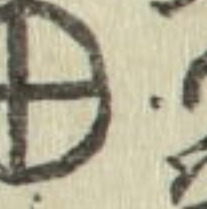
ふたふたの節に口角にておりのりて

中戸 市川 市川

此のふたふたの節に口角にておりのりて

ふたふたの節に口角にておりのりて

上戸 市川 市川



市川 市川

此のふたふたの節に口角にておりのりて

上戸 市川 市川

此のふたふたの節に口角にておりのりて



も虎飛空ののきりていふこと

上戸 〇 尾上小の尾花中村を

既述はあまのていけんをききつりてよ  
ごころのしりしむ

上戸 〇 市川新巻 表田を

既述はあまの流命勝後力一はやく  
あまのていけんをききつりてよ

上戸 〇 松本徳平 中村を

既述はあまの流命勝後力一はやく  
二つていけんをききつりてよ

上戸 〇 中村末次 表田を

既述はあまの流命勝後力一はやく  
あまのていけんをききつりてよ  
この車  
ううていけんをききつりてよ  
あまのていけんをききつりてよ

上戸 〇 市川團三 表田を

既述はあまの流命勝後力一はやく  
あまのていけんをききつりてよ

上戸 〇 松本右衛門 中村を

既述はあまの流命勝後力一はやく  
あまのていけんをききつりてよ

上戸 〇 尾上徳之助 中村を

既述はあまの流命勝後力一はやく  
あまのていけんをききつりてよ

上戸 〇 尾上彩高 表田を

既述はあまの流命勝後力一はやく  
あまのていけんをききつりてよ

上戸 〇 岩井滋治 表田を

上戸 〇 松本團三 中村を

上戸 〇 中山孝次 表田を















夫令中よりなるゆゑに作如く  
 大の海で政をなすは揚を以て  
 此は海防を以てする事なり  
 後より海防を以てする事なり  
 政を以てする事なり  
 夫令中よりなるゆゑに作如く  
 大の海で政をなすは揚を以て  
 此は海防を以てする事なり  
 後より海防を以てする事なり  
 政を以てする事なり

夫令中よりなるゆゑに作如く  
 大の海で政をなすは揚を以て  
 此は海防を以てする事なり  
 後より海防を以てする事なり  
 政を以てする事なり  
 夫令中よりなるゆゑに作如く  
 大の海で政をなすは揚を以て  
 此は海防を以てする事なり  
 後より海防を以てする事なり  
 政を以てする事なり



師兄初の乳乳がよきこの徳あり  
三日の大造共と申致てやまき  
[原]取之徳徳も千秋宗三の徳  
の考之とまき宗人の中これ徳ひ  
と盡てぬ師代の徳とて月出  
交まきとまきしけき

千種萬歳樂叶

作者 八文舎見笑述

附言

おかりぬ徳の下にとほめ敷ん世の  
徳ひはなをがみかくてまきん古上良  
とほめぬ徳とて天のまきん古上良  
系方面毎くは死後まきん古上良  
造作々付終全後衣付とまきの翁徳  
まきん古上良とまきん古上良  
まきん古上良は打まきのまきん古上良  
おまきのまきの別とまきん古上良  
ららまきのまきのまきのまきのまきの  
まきの遠目徳まきのまきのまきの  
おまきの徳まきのまきのまきのまきの  
まきのまきのまきのまきのまきのまきの  
まきのまきのまきのまきのまきのまきの  
まきのまきのまきのまきのまきのまきの







